

# 感染対策便り(院外版) Vol.2

平素より当院の感染対策にご理解・ご協力いただきありがとうございます。  
今回は職員の感染対策の質を向上させるために院内で取り組んでいる活動を一部ご紹介いたします。是非、ご一読ください。

## ●新興感染症を想定した訓練の実施

### 今年度はPPE(個人用防護具)着脱訓練を実施！

感染から身を守るためには適切なPPEが必要となります！当院が連携する近隣の医療機関に対して、毎年テーマを検討し、訓練を実施しています。



## ●各種勉強会の開催

院内では以下の勉強会を毎年実施しています。

- ・全職員及び委託職員を対象とした感染対策講習会
- ・専門職種を対象とした抗菌薬適正使用のための勉強会



今年度上期は”検査に適する喀痰(結核の検査と採痰)”についての勉強会を実施しました！

### 採痰方法の一例(咳嗽法)

- ① 患者に容器を持ってもらう
- ② 何度か深い呼吸をする
- ③ 声門を開いたまま強く短く息を吐く
- ④ 強い咳をして痰を排出



※うがい・歯磨き ⇒ 非結核性抗酸菌 混入の可能性

※排痰が困難な場合 ⇒ ・ネブライザーを用いて咳を誘発する  
・早朝空腹時の胃液を採取する

## ●N95マスクのフィッティングテストの実施

N95マスク※は、空気感染する可能性が高い疾患(結核、水痘、麻疹等)に対し、空気感染予防策対応として使用します。N95マスクを正しく使用するために当院では現在、主に入院患者さんに関わるスタッフを対象に年2回の勉強会とフィットテストを実施しています。

4-2.フィットテストの目的

JMA GROUP

フィットテスト：計測装置等を用いて、呼吸用保護具が顔に密着しているかを評価する方法

【目的】

- 1.使用者の安全を守ること
- 2.院内感染を防ぐこと
- 3.正しい使用方法・知識を習得すること

3-3.N95マスクの正しい装着方法

JMA GROUP

N95マスクのつけ方

2) 3つ別

- ① マスクの上下を確認し、息が通す。サイズワイヤーはゆるやかなカーブをつけます。
- ② 鼻とあごを覆います。
- ③ マスクを押さえながら上唇バンドを鼻橋に押しつけ、鼻とあごを覆います。
- ④ マスクを押さえながら下唇バンドを顎の下に押しつけ、鼻とあごを覆います。
- ⑤ マスクを押しつけ、鼻とあごを覆います。
- ⑥ 両手でマスクを握り、呼吸漏れをまよふくして密着のよい位置にマスクを固定します。

7

一般社団法人 感染制御学会(URGO)

©2024 JMA GROUP

### ※N95マスクとは…

感染源となる粒子を静電帯電方式によって引き付け、捕集するフィルター機能を備えた微粒子対応マスクになります。

当院ではその他にも感染対策の質の向上を目指して、様々な活動を行っています。今後も皆様に安心してご来院いただけるよう、引き続き感染対策に取り組んでいきます。今後ともご理解・ご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。